

# 平成12年度予算と施政方針

## 明るく生き活きとした活力ある町づくり きめ細やかな福祉の町づくり

### 施政方針

平成12年、第1回小須戸町議会定例会の開催にあたり、平成12年度の施政方針を述べさせていただきます。

本年、西暦2千年の年は、今世紀最後の年となりましたが、この年明けは至極平穏にして今年1年間の平安を占うがごとくに感じ、また祈念した次第であります。

さて、昨年は、永年続いている経済不況の中で、最も身近な地方銀行である新潟中央銀行がよもやの破綻をするなど、大きな衝撃を受けたところであり、また当町の産業企業も少なからぬ影響を被ったのであります。しかし、関係経済界、金融機関での努力により顕著な波乱もなかったことは、誠に幸いなことでありました。

一方、地方行政に於いては、一段とその行・財政運営に厳しさが増している中で、特に本年度は介護保険制度の実施、地方分権一括法の施行等大きな課題を担っているところであります。介護保険については、既に実質的にその業務に携わっており、実施に際しては疎漏の無きよう努力している次第であります。

また地方分権に於いては、自ら考え、自ら判断し、自ら実行する“と云う前提の中で、これからの自治体運営、地域社会の将来について、画期的な構想の樹立が肝要であります。そして、

来たるべき21世紀に於ける当町のビジョン（将来像）にしっかかりとしたレベルを敷き、そのレベルに乗って平安にして活力ある町づくり、地域づくりをしていかなければならないと思っております。

議員各位におかれましては、本年度も何卒のご指導、ご鞭撻、そしてご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 予算の編成について

平成12年度の一般会計予算は前年度対比2.9%減（△108,000千円）の36億7千4百万円となりました。このことは継続的施策及び事業を主体とし、また推測される歳入減を考慮した予算の編成であります。

### 国・県に係る事業について

まず、山の地域排水計画は、公共下水道整備事業として、今年度で3年目に入りますが、11年度事業のうち矢代田3号雨水幹線工事は完了し、県の完成検査も終了しております。また矢代田駅下手JR線路下を横断する管の布設工事は、現在進行中であります。

12年度には金山並びに兎谷地区2ヶ所に同様な工事を行い、13年度には三分一地内からの排水路整備を行うことになっております。

この雨水対策事業が完了しますと、その後は余程の集中豪雨がないかぎり、山の市内の排水

水問題は解消されることと思っております。

次に国道403号線バイパス整備につきましては、地権者及び関係各方面のご理解とご協力により、県道白根・安田線との交差点付近の用地買収もまともな進捗を遂げ、12年度には計画路線の丈量を行い、引き続き、用地の買収に着手したい意向であります。

尚、用地買収に係る費用は、国の補正予算及び道路国債に依存しなければならぬ局面も出て来ようかと思われまますので、早期の推進に向けて最大の努力をしております。

主要地方道、白根・安田線については、永年事業化に向けて努力しているところであります。また協議事項の段階に至っておりませんが、今後も関係市町が協力一致して事業化に向けて更なる努力をまいります。

また、県道新潟・小須戸・三条線の堤防線の整備につきましては、当初の予定より遅れがちになっておりますが、関係地域の皆様の強い要望とバックアップも頂いておりますので、その整備促進に一層努めてまいります。

信濃川親水緑地公園の隣接地に計画を進めてまいりました「水辺の楽校」事業も推進協議会で検討を行ってまいりましたが、今般その姿や内容も具体的になってまいりました。建設省では平成12年中に完成したいとの意向でありますので、当町で

も出来るかぎりの協力をして、早期完成を期したいと思っております。尚、一部は11年度事業として区域の浚渫作業を、この3月より行う予定であります。

### 町・単独事業について

平成12年度の町単独事業は、特筆すべき新規事業もなく、従来からの継続的業務が主になっております。

福祉の関りについては介護保険との関りの部分もありますが、従来通りに対応してまいりる所存であります。

次に農業についてであります。本年度のコメの生産調整目標面積は昨年同様31%と厳しい状況であります。国の定めた12年度以降の対策として「水田を中心とした土地利用型農業活性化対策大綱」を踏えた県の方針と相俟って、当町の水田農業の確立を図ってまいりたいと思っております。

尚、当町では実績のついてきた大豆を主体とした転作物物の推進を図るとともに、不作付地の解消と所得の拡大を目指してまいります。

特産花木園芸につきましては近年市場価格の低落傾向が続き、苦しい現況ではあります。関係各位の更なるご努力を願うものであります。当町といたしましては、産地宣伝、販売拡大を図るイベント等については、従来通りの支援をしてまいりる所存であります。

商工業関係では昨年より実施しました中小企業金融安定化特別保証制度に基づく支援策は、その効果が顕著であったと認識しておりますので、本年度も産業育成資金の利用者を含めて引き続き保証料の補給をしてまいります。

また、ときめき商店街支援事業については、昨年度で県の補助事業は終わりましたが、関係者のご熱意もあり、引き続き助成してまいりたいと思っております。尚この事業推進により、商店街の活性化と特産品の開発などに寄与されますことを期待するものであります。

次に文教関係についてであります。まず矢代田小学校、小須戸中学校に係る耐震構造調査の結果が概ね良となりましたので、大規模補強改修工事は行わないことにしました。

つづいて社会教育についてであります。この度生涯学習推進計画がまとまりましたので、関係者のご協力を頂きながらこの実践に向けて努めてまいりたいと思っております。

また、来たるべき21世紀は「心の教育」の問題が大きな課題になるかと思っております。

当町では、既に「心の教育」道徳教育の推進に努めているところであり、更に推進を図り、この恵まれた自然環境にふさわしい、花のように明るく、緑のように清らかな、心豊かな人々が幸福に暮らせる町

でありますよう願っております。これからも関係機関の皆様には、道徳教育について一層の啓蒙活動をお願いする次第であります。次に青少年の健全育成についてであります。このことは非常に大切なことでありますので、従来通りスポーツを軸とした諸活動に対して支援をしてまいりる所存であります。

本年西暦2千年は、小須戸町が町制施行110周年の年であり、また、これまでは昭和55年（1980年）10月29日に90周年事業、平成2年（1990年）10月29日に100周年事業を挙げてまいりました。今世紀最後の年が当町町制110周年と重複いたしましたことは、記念的な意義も感じているところであります。記念事業の内容については今後検討してまいり、町民皆様の心に残るような記念事業にしたいと思っております。

### 広域関連について

昨年6月に白根地域消防事務組合と白根衛生センター組合が合併して、白根地域広域事務組合として事業運営を行っておるところであります。

まず、ゴミ処理については昨年実施しましたゴミの分別と指定袋の使用により、ゴミの減量に大きな成果を挙げっております。これは、地域の皆様のご協力によるものと感謝申し上げます。一方、ダイオキシン対策の問

題が新たに生じてまいりました。先年来ゴミ処理場に於けるダイオキシン排出量の規制が大巾に強化されました。当組合では新施設が6年前に完成したばかりですが、その計画と稼働当時は当然、国の基準を下回る数値でありましたが、今日の規制強化により、設備の改善が必要になってまいりました。このことにより、設備投資は新たな財政負担となつてまいりますが、自然環境や人身に係る問題でありますので、施設改善に積極的に努めてまいります。

次に当町で建設予定しております特別養護老人ホームにつきましては、平成14年度の認可、15年度開設に向けて、関係市町及び福祉法人との協議を行い、準備を進めてまいりたいと思っております。

次に広域市町村圏について申し上げます。本県には14ヶ所の広域市町村圏が構成されており、当町は新潟市を中心とした新潟地域広域市町村圏協議会の一員であります。この圏域は豊栄市から巻町までの18市町村であります。従来はこの圏域内での広域的連携、事業、情報交換等を行ってまいりましたが、今般、地方分権一括法との関連で一気に、町村合併の議論がなされるようになってまいりました。将来的に市町村合併の問題は重要テーマとなつてくることは必定でありますので、当町では、当町のビジョンを組立て乍

ら、近隣自治体と協議を行う一方、町民との意識の交流を計り乍ら検討してまいりたいと思っております。

### 民間との関連事項について

まず、矢代田駅西側開発の件についてはあります。このことについては大変永い年月を要しましたが、この2月に市街化区域編入が認められました。この面積は当町の要望面積を大きく下回る約16haとなりましたが、これからの作業につきましては、民間開発業者との協議、計画を進めてまいり、一日も早い宅地造成と住宅建築がなされるよう、努力をしてまいりたいと思っております。

次に白根保健生活協同組合が当町に進出を計画している長期療養型病院について申し上げます。同病院は平成11年度の事業採択に向けて取り組んで来たところですが、内部の調整や書類の差し替えの必要が生じたことと平成12年度から制度の改定もあることから、既に提出済の申請書は県の指導もあり一旦取り下げ、只今は平成12年度事業として申請に向けて準備を進めているとのことであります。

当町としても、この病院の進出は町にとつて大変意義のあることでありますので、所定の協力をしてまいり、一日も早い開院を期待するものであります。次に町の指定金融機関についてであります。昨年、不幸にし

て新潟中央銀行が経営破綻に陥りましたが、同行は当町地域経済に大きく貢献していただけたことに残念なことであります。また当町にとつても、二ヶ年交替制の中で指定金融機関としてお世話になってきております。現在は同行との契約期間は、平成11年度、12年度となっておりますが、このような事態となったため、内部で如何にすべきかを検討、協議を行ってまいりましたが、去る1月20日に新潟中央銀行、金融整理管財人様が来庁され、契約期間である平成12年度も、指定金融機関としての業務を続けさせて頂きたいとの特段の要請があった次第であります。同行は目下再生の為に懸命に努力しているところであります。当町としても地域経済発展の為に、一刻も早い再生を期待しておりますので、庁内で協議の上、平成12年度も町指定金融機関の業務を引き続き委託することとした次第であります。

以上、平成12年度の行政とそれに関連した案件について所信を述べさせていただきました。何かと厳しい現実の中ではあります。が「明るく生き活きとした活力ある町づくり、きめ細やかな福祉の町づくり」に本年も希望を創生しつつ進んでまいりたいと思っております。